

平明の会 宮木 健 議員

子ども・子育て支援新制度について

(質問) 子ども・子育て支援新制度は、平成24年8月に成立した子ども・子育て関連3法に基づく制度であり、平成27年4月には、本格施行される。本市の現状と今後の予定は、どのようになっているのか。

(答弁) 本市では、新制度に対応する為、現在「鈴鹿市子ども・子育て支援事業計画」を策定して

いる。本年1月にニーズ調査した結果を踏まえ、本市の就学前児童に対する教育・保育サービスの量の見込みに不足する場合の確保方策等、鈴鹿市子ども・子育て会議の意見を聴いて計画をまとめることとしている。今後の予定は条例等を制定し、新年度保育所入所受付など準備を進めるが、保育所等入所の受付開始は例年より1ヶ月程遅れ10月になる予定。

その他の質問 ○4月保育所入所状況について
○おむつ支給事業について

すずか倶楽部 南条 雄士 議員

学力・気力・体力を向上させよう

(質問) (1)全国有数の低学力県である三重県の中でも平均を下回る学力しかない鈴鹿市は、土曜や放課後の教育活動にどのように取り組むのか。学力向上への意欲を問う。(2)郷土愛を育み学習意欲を向上させるため、地域教材の更なる活用を求める。

(答弁) (1)土曜授業は、地域や学校等の実情に

応じて平成26年度から実施する。土曜の授業数を上乘せする方法、平日の授業数を土曜に移すことで放課後の補充学習を充実させる方法があり、内容も通常の授業、地域と連携した体験活動、企業等との連携による外部人材の活用等、様々な形態が考えられる。各学校の実情に応じて学校運営協議会での協議を進め、学力の向上を目指す。(2)地域教材の活用は郷土教育の推進に意義がある。毎年、実際に活用できる地域教材を作成・提案し、積極的な活用を推進する。

市民クラブ 中村 浩 議員

南浜ポンプ場の増設についてパート3

(質問) 暫定ポンプの増設要望について、その後の進展は。除塵施設の設置よりもポンプの増設を優先するべきではないか。

(答弁) 南浜のポンプ施設については、平成13年度に市単独雨水対策の事業ベースの範囲中で、商用電力で設置できる最大限のポンプを設置し

た。現時点において、雨水ポンプ場の建設について日程を示すことはできない。長太川流域の浸水被害の低減策についても、市全体の事業ベースを基本とし、既存水路の改良等必要な施設整備を検討していく。浸水被害の対処については、現在対策を検討している。今後暫定ポンプの増設等も含め、全ての選択肢を排除せず、効率的な暫定施設の改良を検討する。

その他の質問 ○Cバスについてのパート18
○防災スピーカーのパート7

緑風会 大杉 吉包 議員

通学路の安全対策について

(質問) 通学路はどのように指定しているのか。また、自転車の歩道上での事故の責任について。平田野中学校の移転に伴い、新しい通学路となるが、自転車通学をする生徒に対しての安全対策について。

(答弁) 通学路は教職員による実地調査とともにPTAや地域の声を踏まえ学校長が指定。

自転車通学について、一定の条件の下では歩道を通ることも可能であり交通ルールやマナーの指導を実施している。自転車での事故については当事者の責任であり保険加入を勧めている。暗がりとなる通学路については防犯灯設置など関係部局と連携し進めている。平田野中学校の通学に関する安全対策は、現在、開校に合わせ、新しい通学路での自転車通学をする生徒に対しての安全対策を、交通管理者の公安委員会と協議し進めている。

その他の質問 ○認知症対策について